



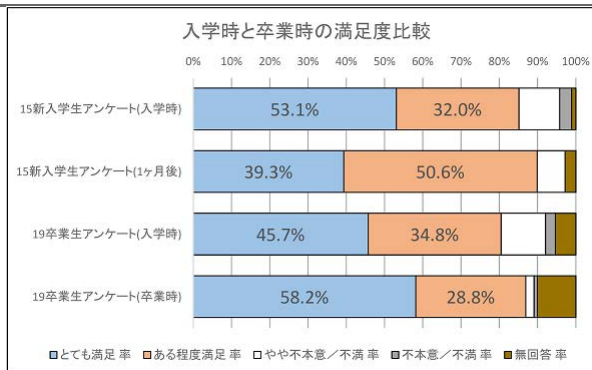
2018年度 新卒業生アンケート結果のご報告

2019年3月、2018年度の卒業式前後で、新卒業生に対するアンケートを実施いたしました。本アンケートは、例年ミッション推進会議と入試課・広報課の合同で満足度や成長実感を知っているものです。

同時に多くの学生にとって、最後の学び舎となるであろう本学への率直な意見や感想をうかがいました。大学としては、いただいた意見やデータを真摯に受け止め、改善を図っていきたくと考えています。アンケートの全項目の集計結果と記述部分は学内各部署に回覧しました。新卒業生の皆さん、ご協力ありがとうございました。(アンケート回答率 89.4%)

広報・社会連携部広報課、ミッション推進会議、学務部入試課

入学時と卒業時の満足度比較



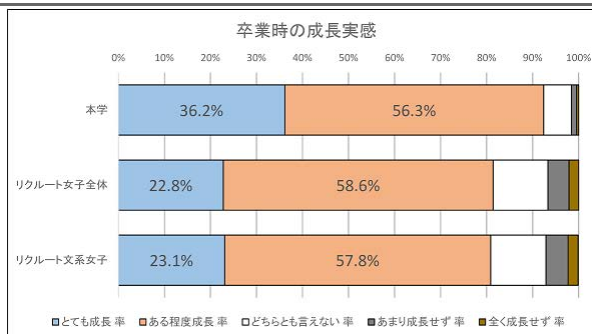
多くの新卒業生が入学した2015年度の新入学生アンケートとも比較し、アンケート内容を比較した。

入学時の満足合計85.5%が卒業時には94.6%と大幅に伸びている。同時に入学時の不本意合計13.8%、1ヶ月後7.3%が、卒業時には不満合計3.0%と、大幅に減少。人数的にも卒業時に不満は14名のみとなった。

特に新卒業生では「とても満足」と感じている率が大幅に増加(48.7%→58.2%)。

なお、この他に、所属学科・専攻別や、入学手段別でも集計したが、全体の満足度が極めて高いために、どの集計でも満足度には傾向が出なかったことを申し添えておく。

卒業時の成長実感



大学を卒業する際、どの程度、本学で自身が成長したか実感しているかを聞き、「卒業時満足度調査2015」リクルート進学総研調べと比較(リクルート調査結果は%のみ公表)。

特に「とても成長」が全国の文系女子に較べて13.1ポイント高く、「とても成長」実感のある学生比率が高い。それに伴い「とても成長」と「ある程度成長」の合計は、リクルート文系女子80.9%に対し、本学92.4%と相当高くなり、卒業生が本学で学び成長したという実感をもっていることが分かる。

なお、本項目でも、全体の集計の他、所属学科・専攻別や、入試別でも集計したが、全体の成長実感が極めて高いためにどの集計でも傾向が出なかったことを申し添えておく。

本学で社会的問題について活動した者と、していない者の満足度・成長実感

	とても成長		ある程度成長		どちらとも思えない		あまり成長せず		全く成長せず		無回答	
	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
とても満足	88	51.8%	76	44.7%	1	0.6%	2	1.2%	0	0.0%	3	1.8%
ある程度満足	13	17.8%	51	69.9%	8	11.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%
やや不満	0	0.0%	3	73.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不満	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	1	33.3%
無回答	3	13.0%	15	65.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	21.7%
合計	104	38.1%	146	53.5%	10	3.7%	2	0.7%	1	0.4%	10	3.7%

	とても成長		ある程度成長		どちらとも思えない		あまり成長せず		全く成長せず		無回答	
	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
とても満足	40	39.6%	56	55.4%	2	2.0%	1	1.0%	1	1.0%	1	1.0%
ある程度満足	9	14.8%	38	62.3%	12	19.7%	2	3.3%	0	0.0%	0	0.0%
やや不満	0	0.0%	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不満	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	9	37.5%	7	29.2%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	7	29.2%
合計	58	30.1%	106	54.9%	17	8.8%	3	1.6%	1	0.5%	8	4.1%

「社会的な問題について大学で活動した経験」の有無も同時に聞き、「大学で活動した経験がある」学生と「ない」学生の、大学での満足度と成長実感を調査した。

(1) 大学で活動経験のある者の満足度合計 89.0%

大学で活動しなかった者の満足度合計 83.9%

(2) 大学で活動経験のある者の成長実感合計 91.6%

大学で活動しなかった者の成長実感合計 85.0%

満足度、成長実感の全体の値が高いことから、社会的問題について大学で活動経験がある者と無いもので、ほとんど変わらない。

さらに、「とても満足」「とても成長」だけに注目すると、次のように、満足度で10.0%、成長実感で8.0%の差が見られる。

(1) 大学で活動経験のある者の「とても満足」 62.3%

大学で活動しなかった者の「とても満足」 52.3%

(2) 大学で活動経験のある者の「とても成長」 38.1%

大学で活動しなかった者の「とても成長」 30.1%

大学で社会的な問題について活動した者は、しなかった者より「とても満足」「とても成長」した実感を持つ率が高いことが分かる。

ミッション推進会議アンケートで「あなたは社会的問題に関連して、次のような活動に参加した経験がありますか」の問いで挙げた次の11項目の活動で、活動した時期＝大学と答えた者を集計したもの。

- ①国内ボランティア活動 ②寄付(募金や物資) ③サークル(SHRET、MSSS他) ④NPO、活動団体での活動手伝い ⑤講演会参加 ⑥エコ活動(リサイクル・節水など) ⑦海外ボランティア活動 ⑧授業、卒論での追求 ⑨イベントへの参加 ⑩スタディツアー ⑪その他

意見・感想 自由記述(抜粋)

満足度が極めて高いため、多くの新卒生が感謝や肯定的な意見を記述してくれていたが、特徴的に多かったことは「良い友人、先生に恵まれた」「充実した4年間だった」といった意見。

意見を、卒業時に「とても満足」「ある程度満足」「やや不満」「不満」とした新卒生に分けて集計しても、内容は変わらず、「素晴らしい友人に恵まれた」という意見が多数を占めた。また、先輩へのエールを書いてくれた新卒生も多かった。

- 高校生の頃を思い出すと、今このように晴れ晴れとした気持ちでこの大学を卒業できる四年後の自分を教えてあげたいと思っています。偏差値が高い大学に入ることが評価される価値観でいた18才でしたが、実際にこの大学に進んで時を過ごすにつれ、「大学で学ぶ」ということの本当の意味が分かったような気がします。一生付き合える友人たちにも出会え、聖心に進学して本当によかったです。聖心の卒業生だという自覚と誇りをもって社会人として頑張ろうと思います。
- 1年次の基礎課程を経てから、専攻を決められたり、留学・就職にむけての制度が大変整っているところ、大学の雰囲気など、すべてが自分の理想とする環境でした。
- 聖心女子大学で学び、様々な出会いの中で自分の進路を決めることができました。聖心を離れても、聖心スピリットを胸に頑張ります。
- この四年間、充実した大学生活をおくることができました。始めは、不安な気持ちもあったけれど、今は聖心に入学して良かったという気持ちでいっぱいです。
- 一人ひとりの学生を先生方が丁寧にみてくださる聖心の教育は自分に合っていたと今は思います。落ち着いた環境で良い先生と友人に恵まれ、充実した4年間を過ごせました。
- 本当に聖心を選んで良かったと思います。伝統と落ち着きのある、とても雰囲気のある大学だと思います。女子大であり、キリスト教であるからこそ学べたことや、少人数だったからこそ深めることのできた絆があります。
- とても大切な友人がたくさん出来、大好きな先生方にも会う事が出来ました。
- 聖心女子大学は、少人数教育が徹底していることで教授との距離が近いことや、幅広い知識や教養を身につけることで、社会に出た際、活躍する人材作りの育成に徹底している大学だと感じました。このような環境で勉学に励むことができたことを本当に誇りに思います。
- 本当に良い大学だと思います。初めて女子校に入学するという事で不安でしたが、教養のある友人に囲まれ、穏やかに学生生活を終えることができました。サポートしてくださった先生方、職員の方々にも深く感謝します。
- オープンキャンパスの入試ブースでお会いした先輩の姿に憧れて入学したいと思いました。自分自身も入学後同じ立場でスタッフとして活動でき、とても嬉しかったです。
- 高校生の時、聖心女子大学のオープンキャンパスで校風が自分と合っていると感じ入学しました。卒業を迎えますが、その時の感覚は間違っていなかったと思い、とても嬉しく思います。また、何を学びたいか決まっていなかった自分にとって、1年次の

学びは人生においてとても重要であったなと思います。そのおかげで恩師に出会えたことや、自分の興味のある分野を見つけ学べたからです。

○ 後輩の皆さん、とても良い環境が整っています。たくさん学んで成長して下さい！

Copyright(c), University of the Sacred Heart, Tokyo
All rights reserved.